

平成 2 9 年度第 3 回

小金井市環境審議会会議録

平成29年度第3回小金井市環境審議会会議録

- 1 開催日 平成30年1月18日(木)
- 2 時間 午後2時から4時まで
- 3 場所 小金井市環境配慮住宅型研修施設
- 4 小金井市環境配慮住宅型研修施設見学
- 5 議題 (1) 前回の会議録について
(2) 小金井市環境保全実施計画(平成30～32年度)について
(3) その他
- 6 報告事項(1) 平成28年度版環境報告書について
(2) エコドライブ教習会について
(3) その他
- 7 次回審議会の日程について
- 8 その他
- 9 出席者 (1) 審議会委員
会長 寺田 昭彦
副会長 中西 史
委員 原田 隆司、大堀 百合子、野田 浩二、
串田 光弘、小野 郁夫、宗野 喜志
(2) 事務局員
環境部長 柿崎 健一
環境政策課長 平野 純也
環境係長 碓井 紳介
環境係専任主査 荻原 博
環境係主任 飛田 幸子
環境係主事 藤原 良市
環境係 阪本 晴子

平成29年度第3回小金井市環境審議会会議録

寺田会長 定刻になりましたので、平成29年度第3回小金井市環境審議会を開催させていただきます。本日の議題に入りますが、それに先立ちまして、事務局のほうから本日の資料の確認をよろしくお願いいたします。

碓井係長 では、まず、資料の確認の前に、ちょっとお時間、大変申しわけないんですけども、本日、お仕事の関係で鴨下委員がご欠席とご連絡をいただいております。あと、もう既にお時間来てしまっているんですけども、野田委員がお仕事の関係で3時、原田委員がこの後ご予約の関係で3時45分に途中で退席なさるということになっておりますので、よろしくお願いいたします。

では、本日の資料につきまして確認をさせていただきます。まず、確認に先立ちまして、今回の審議会につきまして一部資料の作成が遅れてしまいまして、当日配付資料が出てしまったことにつきましておわびを申し上げます。まず、資料1といたしまして小金井市環境審議会会議録で、資料1-2といたしまして、これは本日お配りさせていただいている資料になるんですけども、会議録の要約版、資料2といたしまして平成30年度から32年度の小金井市環境保全実施計画、こちら、クリップどめの資料になります。資料3といたしまして小金井市エコドライブ講習会報告書、こちら、きれいな紙のクリップどめになっていますね。あと、それと別に前回の審議会でご審議をいただきました平成28年度小金井市環境報告書が完成しておりますので、こちらの完成版、お手元にお納めいただければと思います。

以上です。

寺田会長 どうもありがとうございます。

では、次第に従いまして、(1)前回の会議録についてを議題といたします。事前にお配りしてご確認いただいていると思いますが、訂正等がございますでしょうか。よろしいでしょうか。

すみません、私のほうから1点だけございまして、資料1の会議録ですね。会議録の34ページの最後の私の発言なんです、「こうい

った自助的な努力というものが広まる」というところで始まる発言に関して、本学で行っている内容に関して推奨していたという内容で、実際にこれをもう完全にやりますという行動規範のもとでやったというわけではございませんので、少し正しい表記じゃなかったということがございましたので、後ほど碓井さんのほうにご連絡差し上げまして、この文言を少しだけ書きかえさせていただければと。細かい点で大変恐縮ですけれども、よろしく願いいたします。

小野委員 いいですか。

寺田会長 はい。

小野委員 それじゃ、私のほうも細かいところなんですが、26ページの最後の私の「例えばですね」と、次が「救急車両」ということになっていきますけれども、「緊急車両」と言ったつもりなんですね。できましたら、「緊急車両」と思っています。

寺田会長 はい。

小野委員 救急車両というと、もう断定されてしまいますのでね。

寺田会長 はい、承知いたしました。

ほかにお気づきの点等はございますでしょうか。はい、お願いします。

串田委員 続く27ページの真ん中少し上で、会長が「ありがとうございます。串田委員、お願いします」とあって……。

原田委員 あ、ここ、違いますね。

串田委員 ええ。それで原田委員のお話がありますので、「串田委員」が「原田委員」です。

寺田会長 私が間違えているかもしれません。大変失礼いたしました、もしそうでしたら。

串田委員 いえいえ、わかりません。

寺田会長 ほかにお気づきの点ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

串田委員 すみません、もう一つ。20ページから21ページにかけて私の発言が長々と、だらだらだらだらとあるんですけれども、こういう言葉で話をして、それも事前に用意したことではないのをいろいろ話をするときには、どうしても冗漫になったり何かするので、この辺はちょっと要約していただいてもいいかなという。

寺田会長 なるほど。

串田委員 通常はあまりそういうことはしないほうがいいかもしれませんが、こういう長いものに関しては、読んでみると自分でもあきれるような。あ、話しているというのはそういうことなのかなという気がするんですけど、こう文字になると……。

原田委員 あ、それについてよろしいですか。私もそういうふう感じたこともあるんですが、実際、読ませていただくと、このほうがニュアンスが通じると思うんです。で、要約すると、要約する方の受けとめ方が入ってしまうので。これ、ほとんど録音のとおりですよ。短くしたり、書き直したりしていませんよね。

碓井係長 一切しておりません。

原田委員 ええ。何かむしろそのほうがわかると思う。

串田委員 そうですか。わかりました。

原田委員 いや、ほかの方はどうかわかりませんが。おそらくこの方式のほうがこれをつくる方の労力も省けると。

串田委員 なるほど。わかりました。

原田委員 ええ。

寺田会長 よろしいでしょうか。その他お気づきの点ございますでしょうか。議事録について、これ以上特になければ承認ということといたします。以上で前回の会議録についてを終了いたします。

次に（２）小金井市環境保全実施計画（平成３０～３２年度）についてを議題といたします。事務局のほうから説明をどうぞよろしくお願いいたします。

碓井係長 では、私のほうからご説明をさせていただきます。

まず、クリップどめにしてある資料ですね。あと、ホチキスどめの年次別実施計画（平成３０～３２年度）といったものと、あと、その下に１枚物といたしまして平成３０年度環境保全実施計画・事業評価シート（評価対象：平成２７～２９年度事業）となっているものがございます。まず、環境保全年次別実施計画（平成３０～３２年度）、こちらにつきましてご説明をさせていただきたいと思います。

こちらにつきましては、環境保全実施計画が、現行の環境基本計画、平成２７年度～３２年度のものになっているんですけれども、こちら

の前半と後半に分けてそれぞれ3年ずつですね、環境基本計画の体系に基づきまして、実際に市役所の各部署で取り組まれている取組や事業について、その実施計画という形で作成をしているものでございます。こちらのほう、まずおわびから、大変申しわけございません。一部の課でまだ作成が間に合っていないところがございますので、空白になっております。そこはご容赦いただければと思います。

この改定に当たりまして、若干色が薄くなってしまっているんですけども、左から2列目の「取組の方向性」、あと、その後の「実施計画年次」の30年度から32年度と、あと「事業の具体的内容」、こちらにつきまして今回見直しと、あと30年度から32年度の計画という形で作成をいただいております。こちらのほうですね、「取組の方向性」と「事業の具体的内容」につきましては、修正があった部分については若干色づけをいただいております。こちらのほう、前回、報告書についてご審議いただきました際に委員の皆様からご指摘をいただいていた、継続、継続と、こればかりではちょっと評価のしようがないというふうなご指摘をいただきまして、私どもの内部的に検討を行ったんですけども、やはりここに書かれている事業や業務はほぼ各課において恒常的業務、いわゆるルーチンワークとして行われているものがほとんどという中で、実際にこれを計画として書くときに、じゃ、継続以外、何の表現があるのかといったところがやはりなかなか難しいというところがございまして、何が課題なのかなという形で私どものほうで検討させていただきまして、環境保全実施計画というのは、継続、継続で、実際にじゃあその事業についてどれぐらい進んでいるのか、何が課題なのか、何ができているのか、そういったところがなかなかこの限られた枠の中の表記で伝わりづらいと。そういったところが課題なのではないかなというところを私ども考えさせていただきまして、今回、先日の審議会の中で平成27年度から29年度、この前期の保全実施計画が本年度最終年度を迎えておりますので、来年度の今年度分の報告書を作成するに当たりまして、3年度間の事業の進捗、3年間継続したことによって何ができたのか、何がまだできていないのか、何が課題なのか、今後どうしていきたいのか、そういったことを何かしら見えるような形で表記をできるような形を検討し

たいというところで、1枚物の事業評価シート、こちらのほうを各課に保全実施計画の実施状況とあわせまして提出を求めているというふうに考えております。これでもって、私ども、こちらについては、これを全部環境報告書に記載するということにはならないかと思うんですけれども、こちら、各事業のものをこちらの審議会のほうに資料として提出させていただくこととあわせまして、こちらを参考に私どもといたしましても報告書の中に何らかの記載をしていきたいというふうに考えております。

こちらのほうですね、実はまだ、27年度から29年度のものについては、我々行政の事業で評価を行う上で一番肝心なところになるコスト評価、そういった部分がこちらはまだ入ってないんですね。というのは、こちらは27年度から29年度のものになりますので、今さら言われてもなかなかちょっと難しいのかなというところで、今回につきましてはこれは入れない形で対応させていただいたんですけれども、こちら、また31年度以降の前年度の事業を評価する、取組状況の評価するということに使わせていただきたいというふうに考えております。その際にはそういった部分も入れていくような改定も検討できればいいのかなというふうに考えております。

以上です。

寺田会長 はい、ありがとうございます。説明が終了いたしました。

ただいまのご説明につきまして、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。3年ごとにまとめて、こちらのご提案いただいたような事業評価シート等で少し評価をしていただくという新しい取組ですけれども、これも含めまして、ご意見、ご質問等ありましたら、よろしくお願いいたします。はい、お願いします。

中西副会長 すごくこのシート、意義があると思うんです。逆に言うと、今までは全然こういうことはやってこなかった？

碓井係長 そうですね、はい。そこは結局、前回ご指摘いただいたような部分で、私どももちょっと、きちんとした、概要的にはなった部分ございましたので、やはりこういったものが必要だろうという内部的に検討がございました。で、こちら、今、寺田会長からご紹介いただきました、今回ご提出させていただいたものは27年度から29年度、3年

度間のものという形で提出させていただいているんですけども、その次の年には31年度分といたしまして30年度単年度の事業評価といった形でできるようにしたシートも若干アレンジできればいいのかなというふうに考えております。

中西副会長 はい、わかりました。

寺田会長 はい、ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。

串田委員 すみません。

寺田会長 どうぞ。

串田委員 この事業評価シート、これそのものはすごくいいんです。これは、環境報告書等にこれがそのまま載るということですか。それとも、それをまとめて、何か総括して記述されるということでしょうか。

碓井係長 報告書のほうは、これ全部載せるととんでもないページになってしまいますので、総括した形での記載という形になるかと思うんですけども、それに当たりまして、基礎資料としてこの評価シートにつきましては、報告書にそのまま載せるということはないんですけども、この審議会のほうには資料としてご提出をさせていただきたいというふうに考えております。

串田委員 あ、はい。

寺田会長 はい、どうぞ。

中西副会長 いや、すごくこれ、だから、ほんとうに取組意義があるし、作成されるほうもほんと大変な労力がかかると思うんですけど、じゃ、このところで出てきた課題とか改善の方法みたいなことを誰が見るのかわって、結局、それを生かす場とか審議するというのはここしかないんですかね。どこで「新たな課題が出てきたね」とかという、出てきたらどういうふうに対応がされていくのかなみたいなところは。

碓井係長 基本的にはこれ、もちろんこの審議会の場でのご意見を賜ればというところもあるんですけども、庁内的に、じゃあこの課題にどう取り組んでいくのかというところにつきましては、環境基本計画推進本部という、この保全実施計画の一番右側ですね、課名とって、これ、事業担当課になるんですけども、その事業担当課の課長職が集まる会議体がございますので、そちらのほうで……。

中西副会長 じっくり審議。

碓井係長 検討してまいりたいというふうに考えております。

中西副会長 はい、ありがとうございます。

寺田会長 ほかにございますでしょうか。以前、審議会のほうで、おそらく原田委員だったかもしれませんが、重点項目……あ、串田委員でしょうかね、重点項目というのをこの中で抽出して、少し記述……。

原田委員 あ、私、申しあげましたか。

寺田会長 あ、原田委員ですかね。失礼いたしました。したほうがよろしいというご意見があったと思うんですね。で、こういう事業評価シートのところで、例えば3カ年で何かやるというときに、例えば、特に今、気になっていたのは、基本計画体系の5の「公害を未然に防止する」とかいうところでは、おそらくまちづくりの変遷とかとかかわってくるところって多いと思うんですね。例えば今、南口で再区画化という形で商業ビルと、あと住居のマンションができるということになると思うので、そうすると、その付近っておそらく交通量が増えたりということ、よりそこについてのモニタリングが必要になるかもしれないということは考えられると思うので、もしくは、どこか、ちょっと私、失念しましたが、中央線の高架下の整備とかそういうところも、時を経てプライオリティーというのは変わってくることはあると思うので、そういうところも少し事業評価のところには反映させていただくとよろしいのかなという。何かずっとこう、おっしゃるとおりやられているということだと思わすけれども、特に重点的にやらなければいけないというのはあると思いますので、やっぱりそういった重みづけのようなところというのが何らかの形で反映されると、より現実的かなというふうに、ちょっと聞いていて感じましたので、コメントになりますけれども、ご検討いただければと思います。

碓井係長 ちょっと今この場でぱっと、すみません、どう見せればいいのかというところ、ちょっと私も思いついてないところがあるんですけれども、どういった形がとれるのか、今、市の立場も踏まえた形でいただきましたので、検討させていただきたいと考えております。ありがとうございます。

寺田会長 はい。よろしくお願いいたします。

はい、お願いいたします。

串田委員　確かに、おっしゃられたように膨大な量が実施計画の中に入っていますよね。で、頭に環境基本計画体系というふうな形で項目がありますが、体系というから、確かに重要である、ないというか、そういうようなことと一切関係なく、とにかく100まで全部載せているところ、ところが、計画というのは、全部をやりますというふうになかなか計画していくわけではないので、確かに重点的にね、32年度まではこう、それから後の、これは6年単位になっているのかな、今後の6年間はこういうことを重点的にやります、そういうふうにしないと、全部ができるわけではない。それを全部網羅してうまくいっている、いってないというふうな形の評価をしても、それはそれで確かに重要なんですけれども、やっぱり重点的な計画を立てるとというのが、3年後、6年とか、5カ年計画、そういうときには必ず必要じゃないかなと。これは頑張ってください、ここはちょっと我慢してくださいというふうな形でね。そういうふうにするのが、特に予算の問題等も含めて絶対無理なわけですから、ぶっちゃけるとね。これだけのことを全部網羅できるような予算をとれるわけではないわけですから、今回はこれをやりますというふうな何か心づもりを市民の皆さんのほうに示すというのは、非常に大きいことだと思います。で、それによって評価をしていくということじゃないかなと。全部、これのあそこができた、できないというのは、大して意味のある評価ではないんじゃないかなというふうに思います。どれがというのは、ちょっとまた別な話ですけどね。

原田委員　ただいまのに関連して、そういう重点項目が見えてくると、受け取る市民のほうもですね、それを市からのメッセージとして受け取れる。今、この市ではこれが大事なんだと、こういうことを一生懸命やってくれるんだというのがわかって、何か血が通ってくると思うんですね。そういう意味ではぜひ取り組んでいただきたいと私も思います。

串田委員　計画が市民に見えているか、見えてないかというのは、そういうことじゃないかなというふうに……。

寺田会長　なるほど。

原田委員　うん、おっしゃるとおりですね。

串田委員
碓井係長

思いますね。

今、串田委員、原田委員からご意見をいただきまして、私も今、耳の痛いところが結構あるところだったんですけども、やはり私ども行政として計画を立てる中で、もちろん今年ベースではそういったウエートというのはあるとは思うんですけども、じゃ、ウエートがそうでもないから、これは諦めるのかというふうな話にどうしても立場上できづらいというところがある中で、そういった行政として軽重をはっきりと表明するということがどこまでできるのかなといったところを、今、私、ずっと考えていたんですけども、というところと、あと、当然ながら、私ども環境基本計画に基づいて計画をつくっておりますけれども、当然、環境基本計画の上には財政計画であったりですとか、市の全ての事業の大もとになる総合計画であったりですとか、そういったものがございまして、そういったものとの関連性なども踏まえた上で、今この場でじゃあどういうふうな形でいうところはなかなか申し上げづらいところではあるんですけども、どういった形がとれるのか。計画にウエートをつけるという手段にとられるわけじゃなくて、市民の方に市の方針が見えやすくするためにどういった形がとれるのかといったところは、来年度からですか、再来年度か、平成31年度から次の環境基本計画の改定に向けた作業にも入ってまいりますので、そういった中でもよく考えて、研究してまいりたいなというふうに考えているところです。

以上です。

寺田会長
串田委員
寺田会長
大堀委員
寺田会長
大堀委員

はい、どうもありがとうございます。

よろしく申し上げます。

ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうか。

あ、すみません。

あ、よろしくお願ひいたします。

項目の7のほうでなんですけど、「ごみを出さない」とか、そういうのもよく見たらすごく環境の中で重大なことだと思うんですけども、一般市民の人というか、私みたいに普通に主婦をやっているような者は、環境と言われましても、身近なものから取り組むというのが大事、それが積み重なって大きくなるということもわかるということ

が大事なことなんだと思うんですよ。だから、そういうあたりの啓蒙
というか、ちょっと何かいい方法で、ごみとかリユースとかライフス
タイルが変わることとか、例えば冷蔵庫が壊れて買ったんですけども、
それによってすごい使用電力が少なくなったとか、そういう体験談を、
何か市民の立場のものを載せたりとか、ちょっとそういうのをして啓
蒙したほうが、もっと下の意識が、上のほうまでいかななくてもちょっ
と協力できるかなって、それは思ったんですけど。その何かいい方法
があれば、何か体験談みたいなのを市に寄せて載せるとか、そういう
の、ないですかね。

碓井係長 啓発といった部分で、確かに市民の方の身近な実体験というのをほ
かの方に与える影響って絶対あるのかなというところではございますの
で、そういった部分は、私どもの課でももちろんそうなんですけれど
も、基本的に市民の方へのさまざまな意識啓発というのは市役所のい
ろんな部署でやっておりますので、どういった形というのはなかなか
ぱっと今申し上げられないところはありますけれども、ご意見、ご参
考にさせていただきたいというふうに考えております。

以上です。

寺田会長 ありがとうございます。

大堀委員 努力します、私も。

寺田会長 よろしく申し上げます。

ほかにございますでしょうか。よろしく申し上げます。

宗野委員 市のほうが責任持ってしっかりやるということが前提になっている
と思いますので、継続という書き方もやむを得ないのかなというふう
なことは思いますけれども、基本計画のところを根っこにして、体系
をもとにしてこういう細かい施策が展開されているようなんですけれど
も、なかなか、環境のことなので、数値ばかりで、きちっとした目標と
いう何年までに幾つから幾つというようなものばかりじゃなくて、
定性的なものも多いと思いますけれども、これだけたくさんあるわけ
ですから、中には数字でやれるものもあるのかな。どれができるのと
言われても、ちょっと私もざっと見てもわからないんですけども、
でも、市のほうがしっかりまとめていらっしゃるのは、毎年まとめて
いらっしゃる事業の報告書の中で実績を毎年毎年、本年度はこうやっ

た、こうやったということをまとめていますから、実際には数字で各項目をここまでやったということをまとめていらっしゃるようなので、全部じゃないにしても、そういうことも数字で、例えば1、1、1だったのが、今度の3年間では2、2、2ずつ少しやっていきますみたいな形だとかいうものもあれば、そこは力を入れてやっていくわけねというようなこともわかりやすくなると思いますので、そういうことも、なかなか急にはできないかもしれませんが、そういうこともちょっと検討していただくこともいいのかなという意見であります。

碓井係長 ありがとうございます。今、宗野委員からご意見もありまして、今、委員の皆様でご存じでいらっしゃるの寺田先生がどうかというところだと思うんですけども、そういったご指摘ですね、実は前の前の審議会の委員の皆さんから賜っておりまして、それを受けて、かなりこちらのほうの表現ですね、確かに今、宗野委員がおっしゃられたように、環境の事業というのはなかなか定量的な評価が難しいというものも少なからず確かにあって、それでも、できるものについてはなるべく定量的に、ごらんいただいた方にわかるような形で、数字が一番わかりやすいので、記載をしていこうという形で全庁的に取り組んでおりまして、これでもかなり数年前に比べると改善をされておりまして、その部分につきましては今後もより一層力を入れてまいりたいというふうに考えております。

以上です。

寺田会長 はい、ありがとうございます。おっしゃるとおり、年々といえますか、改善はされているというのは私も感じておりますので、その点は、皆様、少しずつご理解していただくのもよろしいかなというふうには思っております。

ほかに何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。では、以上で小金井市環境保全実施計画（平成30～32年度）についてを終了いたします。

次に、（3）その他を議題といたします。事務局のほうから何かご説明等はございますでしょうか。

碓井係長 本日、その他で特にございません。

寺田会長 はい、ありがとうございます。以上でその他を終了とさせていただきます。

きます。

引き続きまして、事務局から報告事項の報告を行っていただきます。次第に従いまして、(1)平成28年度版環境報告書についてを報告していただきます。事務局のほうからご報告よろしく願いいたします。

碓井係長

はい。冒頭、今ご報告させていただきましたが、前回の審議会の中でご意見をいただきました平成28年度版環境報告書ですね、完成をいたしましたので、本日、皆様の手元にお配りさせていただいております。

こちらのほう、主にご審議いただいた内容で変更させていただきました部分につきましてちょっとご説明させていただきたいと思っておりますけれども、今、ご審議いただいた内容とも若干かぶるんですけれども、基本計画の取組の進捗状況、第3章ですね、14ページからになるんですけれども、こちらの中で各大項目ごとの1、「意識・情報・学習・行動のネットワークをつくる」、2、「緑を守り育てる」、こういった形なんですけれども、これごとにこの項目の下の説明のところに、平成28年度のその中で行われている事業の全般的な総括のほうを入れさせていただきました。こちらのほう、まだ今年度は、今、現状、私どもの手元にある資料だけでやらせていただきましたので、若干不十分なところがあるかと思っておりますけれども、来年度以降、今ご提示させていただきました評価シートのほうを用いまして、より内容のほうを改善していければというふうに考えております。

あと、今年度、反映できたもの、できなかったもの、あるんですけれども、審議会の中で皆様からいただきましたさまざまなご意見につきまして、44ページ、45ページに「今後に向けて」の中で記載をさせていただきましたので、内容のほうをごらんいただければと思います。よろしく願いいたします。

以上です。

寺田会長

はい、ありがとうございます。

今、報告が終了いたしました。ただいまのご報告につきまして、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか。よろしいですか。よろしいでしょうか。これ、ご報告事項ということでよろしいですね。

碓井係長 はい。

寺田会長 はい。特にお気づきの点等ないようでしたら。よろしいですかね。
ないということですので、以上で平成28年度版環境報告書について
を終了いたします。

次に、報告事項の(2)になります。エコドライブ教習会について
をご報告していただきます。ご説明のほどよろしくお願ひいたします。

藤原主事 それでは、新任の委員の方がおられますので、簡単に事業概要の説明
を行いたいと思っております。この事業は、平成22年3月にでき
ました小金井市地球温暖化対策地域推進計画の重点対策の一つ、自動
車による二酸化炭素排出量の削減を目指すという施策の一環で行って
おります。また、予算については、オール東京62区市町村共同事業
「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」という助成金を活用して開
催しております。

それでは、報告書を活用してご報告させていただきたいと思ひます。

表紙を1枚めくっていただきますと開催日時が載っております、
毎年5月と10月の中旬ごろに開催しております。受講者は各回3名
を上限としていまして、12名ずつの参加となりました。

場所は、毎年、尾久自動車学校で行っております。市内には3カ所、
自動車学校があるんですけども、測定器が尾久自動車にしかないた
め、ご協力していただいております。

続きまして、カリキュラムの設定ですが、もう1ページめくって
いただきまして、まず、指定のコースを通常感覚で運転していただ
いた後に、座学を行っていただいて、エコドライブのノウハウを学んで
いただきます。その後、同じコースを運転して、燃費がどれだけ改善
したかを確認し、講師の方々からエコドライブの走行の仕方のアドバ
イス等をいただいております。その後に修了証という形で交付させて
いただいております。

続きまして、ページをめくっていただきまして、エコドライブの走
行ルートになります。比較的交通量の少ない道路を選んでおります。

続きまして、受講者の方の燃費の改善率の一覧が載っております。
毎年、おおむね受講者の方の平均改善率は大体20%から25%の間
となっております。

最後に、診断書が載っておりまして、その次にアンケートの集計結果が載っております。後ろのページのほうになると思います。ご意見さまざまいただいているんですけども、おおむね好評をいただいております。エコドライブについて学べてよかったという意見が多く寄せられております。

今後の市としての改善としましては、やはりエコドライブを周知するということなので、もうちょっとPRの活動に力を入れて、より多くの方にご参加していただけるように努力したいと思っております。

説明については以上になります。

寺田会長

はい、ありがとうございます。報告が終了いたしました。

ただいまのご報告につきまして、ご意見、ご質問ございますでしょうか。

原田委員

よろしいですか。

寺田会長

お願いいたします。

原田委員

これについては、毎年、この時期に出されまして、いつも思うんですが、アンケートに非常に重要なことが書いてあるなど。アンケートをちょっと細かく読ませていただきました。皆さん、ご報告にあったように非常に効果があったっておっしゃって、共通していますが、カリキュラムの説明を伺ってなるほどと思ったんですけど、効果がやっぱり目に見える形でやられていると、実技は。実技と座学の組み合わせですね、それが非常にいいと思います。それから、アクセルの踏み方とアイドリングストップという2つの項目に絞ってやって、体で理解させるというのが、よくできているなと思いました。それから、みんな一様に驚いているんですね、効果が大きいというのでね。で、エコドライブというと何か面倒くさそうだけど、やってみたら実に燃費が向上するというので、皆さんが驚いている。しかも、経済的だけじゃなくて、安全運転につながるという効果があるというのが、皆さんのアンケートの答えから共通して感じられることだと思うんですね。そういう意味では、環境の保護だけじゃなくて、家計の節約とか事故の防止とか、そういうことにつながっている大変重要な講習だと思うんです。

そこで、そこまで読んで感じたのは、これってもしかすると、免許

取るときとか免許の更新のときにやるべきじゃないかなと思ったんですね。そうしたら、実際そういうふうにアンケートで書いている方がいらっしやる。アンケートの集計の3ページに教習所で免許取得時に必修にするべきであるというようなことを書いて、それから、そのちょっと上には、免許更新時等にPRしなさいとか、免許を取るタイミングで講習会をすると周知されると思うというような貴重な声があります。これは環境政策課だけではもちろんできないんですけれども、公安委員会とか関係の部署に働きかけて、実現できたら実はいいなというふうに感じました。

以上であります。大変よい講習だと思います。

寺田会長 はい、ありがとうございます。ほかはよろしいですか。はい、願いいいたします。

小野委員 いいですか。今のお話の中でアイドリングストップというのは出てきましたけれども、このアイドリングというのは、なぜアイドリングをしなきゃいけなかったのかというのをこの講習で説明されているかどうか、ちょっと読めないんですね、この報告書だけですと。少なくとも必要であったから今までアイドリングやってきたんですよ。それをやめよう、ストップしようということ。そうすると、なぜ必要だったかというところを全然置き去りにしちゃって、ストップするところだけをやろうと言って、ほんとうにそれでいいんだろうかというのはね、ちょっと疑問はありました。

荻原専任主査 これは多分、教習所のほうでは、私、実際に全部いたわけではないので、丸々話を聞いているわけではないんですけれども、その中では多分、アイドリングストップ、どうして昔は長々とやっていたのに今はやらなくてもいいのかというのは、講師の方から、エンジンの性能が上がったからとか、燃料の、要するに窒素酸化物とか、NO_x、SO_xを出すんですけれども、そういうものが出ないような燃料がよくなってきたからというようなことの話はされていると思います。あとは地球温暖化というところで、今、アイドリングストップをやるのが通常になってきているよという、そういうようなことは話をされていると思います。

小野委員 ああ、なるほどね。

大堀委員　私も受講生をさせていただいたんですけど、もう何年か前ですよ。それで、そういう説明をちょっとさせていただいたと思っているんですよ。あと、40キロで走行すると経済速度というのがもう頭にインプットされちゃっているんで、何かそれ、生活に生かされているなと思っているんですけど、今、でも、車も何か変わってきちゃって、とまると自動的にエンジンが切れるという、今乗っているのがそうなので、あれ、これ、だんだん改善されてきちゃって、アイドリングというのも問題にならなくなるかなとか逆に思っちゃったりもしちゃったんですけど、ちょっといい経験ではありました。委員の方でも、もし機会があったら参加されたほうが実感できると思いますけど。ありがとうございました。

寺田会長　ほかにいかがでしょうか。はい、お願いします。

串田委員　審議会で前にも、1年前になるのかな、エコドライブ講習会の報告書がやはり出て審議された中に、なかなかいい講習会なのに、やはり今回と同じようにそういう意見があって、ところが、参加されている方が市民全体に対して圧倒的に少ないと。24名しかいない。これを何とか市民全体に広げる工夫がないだろうか、広報等も含めて。そういう話があったかというふうに、今、ふと思い出したんですけども、それに関しては何か対応されましたか。

荻原専任主査　そうですね、参加された方々に、お帰りになるときには、ぜひこれを、帰ったら、ご自身が今日経験されて学んだことをおうちの方や職場の方にぜひ伝授していただきたいと。伝えますというようなことでしかやりとりはないですけども、そういった形で広めていていただきたいという話はさせてもらっています。

串田委員　何でもいいんじゃないかと思うんですよ。せっかくウェブページがあるんですから、こういうことをやってこうだったというような何らかのことだけでも随分違う。細かいエコドライブに関しては、国土交通省なり何なりで資料はいっぱいあるから、そこはリンク張るなり何なりして、そういうような形でそこを見れば、エコドライブの講習会をやり、その内容はこうなので、これに参加されなかった皆さんも気をつけてくださいみたいな形で、何かそういうふうなのは簡単にできるんじゃないかなというふうに思っているんですけども、いか

がでしょうか。担当課がどうだか、ちょっとよくわからないんですけど。

荻原専任主査 ホームページなんかで周知できるかどうか、ちょっとまた検討させていただいて、できるだけ前向きにやれるようにしていきたいと思います。

原田委員 質問いいですか。これ、全市町村でやっているんですか、この講習会は。

荻原専任主査 いや、そんなことはないと思いますけどね。やっているところのほうが少ないと思います。

大堀委員 すごくほんとうに頑張っている。

原田委員 ああ、そうですか。

寺田会長 ちょっと今日、小金井市という言葉とエコドライブというキーワードでサーチエンジンかけてみたらですね、東京都環境局が結構このレポートというのを載せていまして、幾つかの東京都の市町村での実施例というのが載っておりました。ということがちょっと気になって、で、小金井市のホームページにちょっと行ってみると、これ、どこに当たるかという、多分トップページから「暮らし」って行くと「環境・公害」というところがあって、さらに行くと「お知らせ」というところがあるんですね。例えばこの「お知らせ」のところ、何月何日にこれを実施しましたというだけにしてもいいのかもしれないですね。何かそういう比較的市民の方が——トップページのほうは見るかもしれないなというふうに、ちょっと今日見て感じましたので、これもコメントになりますけれども。

中西副会長 今回24名、今年度というんですかね、あれなんですけど、これは応募された方が、募集された方全員という形で24名？

荻原専任主査 24名しか枠がないんです。24名募集に対して24名参加者がいる。

中西副会長 これよりは多くはなかった？ 倍率とか何とか。

荻原専任主査 そうですね。もういっぱいになったら、その時点で締め切ってしまうので。

中西副会長 締め切っちゃう。何かね、どれぐらい認知されているかみたいなど

ころが、倍率が上がっていくとかというのでちょっとわかるかなと思
ったんですけど。

大堀委員 これは5月と10月で4日間ずつですよ。

荻原専任主査 はい。

大堀委員 それで各日が3人ずつでしょう。

荻原専任主査 はい。

大堀委員 それで、日にち調整とか何とかというのもやるんですか、そういう
の。

荻原専任主査 そうですね。やはり……。

大堀委員 参加できやすいように。

荻原専任主査 皆さんに参加していただけるように、移動できて調整できるような
ところは調整して、皆さんできるだけ参加していただけるようにして
おります。

大堀委員 そういふのがあるとね、4日間のうちのどれかになってなる可能性があ
るので、出やすいんじゃないかなと思って。

寺田会長 ほか、いかがでしょうか。はい、お願いします。

串田委員 先ほどのこういう講習会とほかの事業に関して実施したものが、全
体の、こういうふうに参加者が非常に限定されて少ない場合もあるので、全市民のほうに情報が発信されるような工夫というのでも、何だ
かんだ言たってとにかくウェブページが一番ですから、事細かに書
かなくても、国土交通省ですか、のほうのページに飛ばせばいいわけ
ですから、具体的なエコドライブの内容に関して。で、こういうことを
しましたというような、それはエコドライブの講習会だけではなくて、
ほかに環境政策課なら環境政策課のいろいろな事業、その他がある
と思うんですけども、それが、ウェブページに行っても、環境政策課
のページに行っても、ほとんどわからない。環境政策課は環境関係で
何とかに関する事業を行っております、それしか書いてないわけ
ですよ、基本的に。まあ、特殊なもの何かあるかもしれません。ほとん
ど、日常どういふことをやっているかというのが見えない、わから
ないというふうなページのつくりになっているので、どこかに飛ぶの
でも構わないので、あ、環境政策課って日々こういうことをやっている
んだなというので、そういうのが少しでもあると、そこのページを見

に行こうというふうになってくるわけですから、そうすると、あ、環境政策課というのは低予算の中で非常に頑張っているなどか、そういうふうなつながりができてくるというか、そういうことの意味でウェブページの活用というのは、各課同じかもしれませんが、環境政策課のページというのはもうちょっと改善の余地があるかなというふうに思います。

荻原専任主査 はい。前向きなご意見ありがとうございます。取り組んでいきたいと思っておりますので。

寺田会長 ほかに何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

小野委員 いいですか。

寺田会長 はい、よろしく申し上げます。

小野委員 アンケートを見せていただいた結果、エコドライブの要素としては、アイドリングストップと、あとはアクセルとブレーキの調整と、この2つぐらいなんですね、要因が。そうすると、アクセルとブレーキの調整というのは、これは運転する本人の技量になってしまうと思うんですけれども、アイドリングストップは、これは大堀委員がおっしゃったように、そういう車がもう既にできているわけですから……。

大堀委員 うん、そうですね。

小野委員 もうこれは国の政策のようなものに結びつけられるんじゃないかなと思うんですね。だから、そういうふうに2方向に分かれた講習会というんですかね。だから、あれはもう完全にアイドリングストップはそういう方向で持っていけるようであれば、ブレーキとアクセルの調整、ここのところに集中すればそう難しくないし、そんなにお金もかからないんじゃないかなと思うんですね。まあ何とも言えないですけど。そんなことを、ちょっとこのアンケートを読ませてもらって気がつきました。

寺田会長 はい、ありがとうございます。

ほかに何かお気づきの点、ご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、以上でエコドライブ教習会についてを終了いたします。

次に、報告事項の(3)ですね、その他を報告していただきます。事務局のほうから何かございますでしょうか。

碓井係長 ございません。

寺田会長 はい、ありがとうございます。

引き続きまして、次回の審議会の日程についてを行いたいと思います。事務局から何かございますでしょうか。

碓井係長 はい。次回につきましては、来年度、平成30年度ですね、小金井市の環境政策課の事業計画についてといったことを議題にさせていただきたいため、審議会の開催は、年度末のお忙しい時期で大変恐縮なんですが、3月の末ごろを想定しております。また近くなりましたら日程調整のほうをさせていただきたいと思いますので、委員の皆様におかれましてはよろしくお願い申し上げます。

寺田会長 はい、ありがとうございます。

ほかに何かお気づきの点、ご意見等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

ご意見がなければ、以上をもちまして本日の議事は全て終了いたしました。本日は、これをもって平成29年度第3回小金井市環境審議会の会議を閉会とさせていただきます。大変お疲れさまでございました。

— 了 —